

令和元年度 家庭教育支援プログラム指導者研修② 実施報告

実施日：令和元年6月17日（月）

【午前の研修】

○ 事例発表「プログラムの実際」

○ 演習「プログラムの体験Ⅰ」 栃木市岩舟家庭教育支援チーム「かるがも岩舟」 高久 厚子 氏
越沼 和子 氏



栃木市で家庭教育支援に携わっている「かるがも岩舟」の高久さん、越沼さんを講師に迎え、事例発表と演習を行いました。

事例発表では「かるがも岩舟」の紹介、活動内容、そして今後に向けてのお話しをいただきました。実際にプログラムが実施される場面や依頼の流れ等、具体的な内容を聞くことで、受講者はプログラムに対するイメージをより明確にもつことができました。

演習では、「子どもの生活リズム」に関する内容のプログラムを体験しました。受講者はプログラムの体験とともに、ファシリテーターとしての進め方や受講者との関わり方、資料の工夫など、多くのポイントを学ぶことができました。

最後に、お二人に受講者からの質問に答えていただいたり、プログラム実施上の留意点などお話しいただいたりしました。資料や発表内容から一歩踏み込んだ話も聞くことができ、家庭教育支援プログラムについて理解を深めることができました。



【午後の研修】

○ 講話「子どもの発達と生活リズム」

公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センターCEO 神山 潤 氏

眠りに関わる生活リズムについて、神山先生からお話しいただきました。睡眠に関する様々なデータをもとに、睡眠が足りていない現代の状況や睡眠不足がもたらす弊害、どのようなことを意識するとよいかなど、分かりやすく話してくださいました。

また、「情報をうのみにしない」「感性が大切」といった話もいただきました。「ウサギとカメ」を例にした話や「我慢できることの大切さ」など、家庭教育も含めて日常生活の中で生きる多くの示唆をいただいた講話でした。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・「親学習プログラム」に答えはなく、ふりかえり、気づき、同じ思いを共有し、安心することが大切」ということがとても心に残り、ぜひそうありたいと思いました。
- ・早寝早起きを含めた習慣作りの重要性和、睡眠が人間に与える良い面と悪い面、“親子で正しい知識”を啓発していきたいと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp